

# 久勝小学校 「学力向上実行プラン」

## 研究テーマ

研究主題  
課題解決を目指して、主体的に行動する児童の育成

①「聴く力」の育成  
②主体的に学習し、伸びる喜びを知らせるための「分かる授業」の創造

## 学力向上検討委員会構成

|                  |    |                               |                           |                           |    |       |
|------------------|----|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|----|-------|
| 学力向上推進員<br>美馬美和子 | 委員 | 校長<br>教務<br>低学年<br>中学年<br>高学年 | 安原<br>篠原<br>松村<br>林<br>枝澤 | 剛<br>督人<br>淳子<br>貴子<br>申代 | 教頭 | 吉岡 壮吉 |
|------------------|----|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|----|-------|

校長  
安原 剛



### (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

| 児童生徒の状況                                   | 具体的目標(めざす子供の姿)   | 成果指標   | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況        |
|---|--|--|---------|------|-------------|
| よさ<br>漢字の読み書きや整数の四則計算等については、ある程度の定着が見られる。 | ①授業中のきまりを守り、話をしっかり聴くことができる。<br>②課題に進んで取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。     | 全国調査・ステップアップテストのA問題で平均正答率が県平均以上                                |         |      |             |
| 課題<br>基礎的・基本的な内容が身につけていない児童もあり、学力に個人差がある。 | ①学級で決めたままりや「聞き方・話し方名人」をしっかりと活用し、徹底を図る。<br>②音読・漢字・計算などの繰り返し指導とミニテストを継続的に実施する。 | ①常時声かけをしながらの意識づけをしたり、年3回のチェックシートを用いたりする。<br>②反復指導とチェックテスト週1回実施 |         | 評価   | 次年度における改善事項 |

### (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況   | 具体的目標(めざす子供の姿)  | 成果指標   | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況        |
|---|---|--|---------|------|-------------|
| よさ<br>グループ学習で意見を交換したり、まとめたことを発表したりするなどの表現活動に意欲的である。               | ①人の話を考えながら正しく聴くことができ、目的に応じて的確に読むことができる。<br>②自分の考えを根拠をもちながら、筋道を立てて書いたり、話したりすることができる。 | 「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは得意」と答える児童の割合が80%以上。                                |         |      |             |
| 課題<br>学習の基本となる聴く力、課題解決のために必要な情報や知識・技能を選択し活用する力、筋道をたてて説明する力に課題がある。 | ①聞き取り、読み取りトレーニングを行う。<br>②ホワイトボードを活用し、グループや全体で話し合う活動を取り入れる。                          | ①モジュールの時間等を活用し、各学級で月2回実施する。<br>②1日1回、様々な教科でグループ活動を取り入れる。また、各学級週1回以上ホワイトボードを使う。 |         | 評価   | 次年度における改善事項 |

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況  | 具体的目標(めざす子供の姿)   | 成果指標  | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況        |
|--|--|---|---------|------|-------------|
| よさ<br>与えられた課題や方法・手順がわかる学習には真面目に取り組むことができる。                       | ①学ぶ楽しさや伸びる喜びを感じながら、課題や自主学習に積極的に取り組むことができる。<br>②基本的な生活習慣調査の全項目の達成ができる。      | ①「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」や「国語や算数の勉強が好き」と答える児童の割合を80%以上。<br>②達成率80%以上。 |         |      |             |
| 課題<br>自ら課題を見つけ取り組んだり、広げたりする意欲に課題が見られる。基本的な生活習慣が十分に身につけていない児童がいる。 | ①「分かる」授業の確立をめざして、全学年で共通した「学習の流れ」を活用する。<br>②家庭学習・生活リズムチェックカードを通して、意識の向上を図る。 | ①「学習の流れ」を活用し、全学年で毎時間取り組む。<br>②チェックを年間3回行う。                            |         | 評価   | 次年度における改善事項 |

## 平成29年度 学力向上ロードマップ

## 作成例



